

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…グループホーム敬愛苑

サービス種類…認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和8年1月22日

開催場所…ポートピア松江ビル4F会議室

出席者

事業所	3人	利用者	0人
利用者家族	2人	地域代表者	2人
松江市職員	0人	包括支援センター	1人
知見を有する者	0人	その他(防災センター)	0人

会議次第

1. 挨拶

・常務取締役より挨拶。

2. 出席者自己紹介

3. 議事概要

(1) 現在のサービス提供状況の説明

行事 11月 敬愛苑クッキング（チヂミ、焼きそば）
避難訓練

12月 クリスマス&忘年会

研修 （社内）受診時の対応に関するマニュアル・社用車の使用方法について
身体的拘束その他入所者の行動制限する行為について
原子力災害初動対応訓練
日常生活自立支援事業・成年後見制度について
（社外）放射線の正しい理解と原発事故時に取るべき行動
グループホーム部会

(2) 行事報告・日々の活動報告

(3) 看取りについて

(4) その他、意見交換

行事報告・日々の活動報告

敬愛苑	11月…敬愛苑クッキング（各ユニットで鉄板を使用しチヂミ、焼きそばを作った。）
	12月…お地蔵様供養 クリスマス会&忘年会（昼食は一緒にすき焼きを作って召し上がった。午後にクリスマス会を実施。おやつとケーキと紅茶を提供した。）
	日々の様子…日曜日はカラオケ大会を実施。日々の活動は作品作り、かると、風船バレー、童謡・懐メロ歌唱、体操等を行い楽しんでい

ただいている。

看取りについて

- ・管理者より苑での看取りの取り組みについて説明を行う。

その後、敬愛苑で看取りを経験された元ご家族より経験談をお話していただく。

家族 A 家族の認知症が進行し対応に困って様々なところへ相談した際、敬愛苑の情報を知り、入居を決めた。

体調が徐々に悪くなり、1日に数回面会をしたが、泊りを薦められ、虫の知らせがして泊まった。その夜、目が開いて「ありがとう」と頬ずりした後亡くなった。敬愛苑では良くして頂き感謝している。

意見交換

行政 職業上、在宅の看取りについてはいろいろ聞くことがあるが、施設内での看取りの話をご家族や職員から実際に聞くことが出来て勉強になった。

家族 B 入居して間がないので、看取りの想像がまだできないが、今日お話を聞くことが出来て、少しずつ考えていけたらと思った。今は、認知症の対応の仕方で困っているが、きちんと向き合っこれからのことも考えていきたい。

地域 A そのうち、家も良かったが、施設も良かったと思ってもらえるようになると思う。入居後、気の合う人が見つかる「今日もよかった。」と思える暮らしができるようになると思う。

地域 B 貴重な話が聞けて良かった。

敬愛苑 看取りは施設によって、行うところや行わないところ様々である。ドクターが看取りを行う方針で、施設も看取りケアを行う方針となった時に施設内での看取りが可能となる。

今後ともドクターや看護師、ご家族、職員で協力しながら、みんなで利用者の人生の最後の時に寄り添い、利用者、ご家族に安心していただけるような看取りケアを行っていききたいと思う。

閉会

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	<input type="radio"/>